

斜降式



認定型式番号  
ふ S-001号

サイサンの  
斜降式救助袋

救 助 袋

取扱説明書

- このたびは、当社の製品をご採用いただきありがとうございました。
- お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、所定の場所に保管してください。
- ご担当者の方などが替わる場合は、必ずお引き渡しください。

## 齋田産業株式会社

本社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-6 大宮第2ビル  
TEL.(03)3291-4141(代) 3292-8586(代) FAX.3292-8588

北海道営業所 〒063-0812 札幌市西区琴似2条7-2-37 大洋ビル  
TEL.(011)641-4161(代) FAX.631-1403

生産工場  
北海道第1工場 〒047-0015 小樽市住吉町6-1  
(小樽) TEL.(0134)32-1414(代) FAX.32-1412

生産工場  
北海道第2工場 〒079-8417 旭川市永山7条1丁目4番21号  
(旭川) TEL.(0166)22-8440(代) FAX.22-8441

組立工場 〒134-0082 東京都江戸川区宇喜田町1238番地  
江戸川工場 TEL.(03)5658-7273(代) FAX.5658-7276

齋田産業株式会社

## 目次

- 安全上のご注意 ..... 1
- 構造と各部のなまえ ..... 2
- 操作要領 ..... 3
- 警告及び注意事項 ..... 5
- 使用方法の手順 ..... 6
- 引き上げ、格納の手順 ..... 11
- 訓練などに使用する場合の注意 ..... 13

## 安全上のご注意

- ◆この製品を安全で正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、安全に関する内容を記載していますので必ず守ってください。
- ◆表示と意味は、つぎのようになっています。

### 表 示

### 表 示 の 意 味



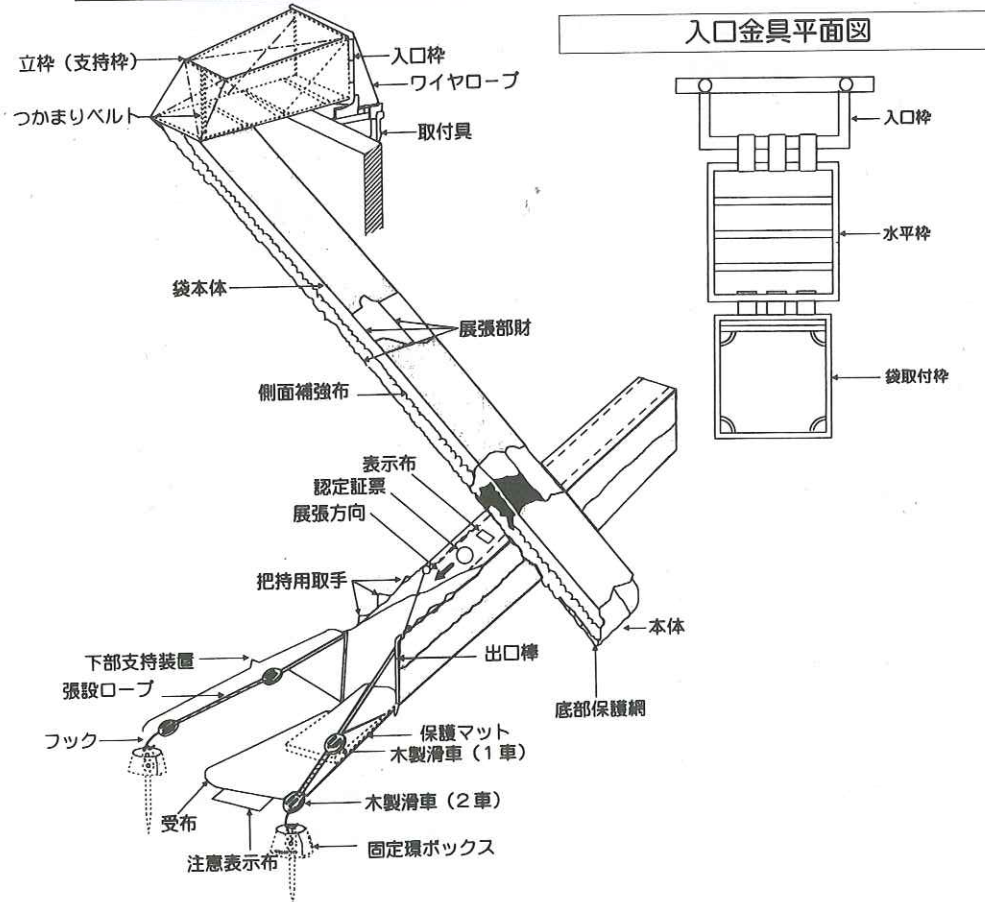
**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。



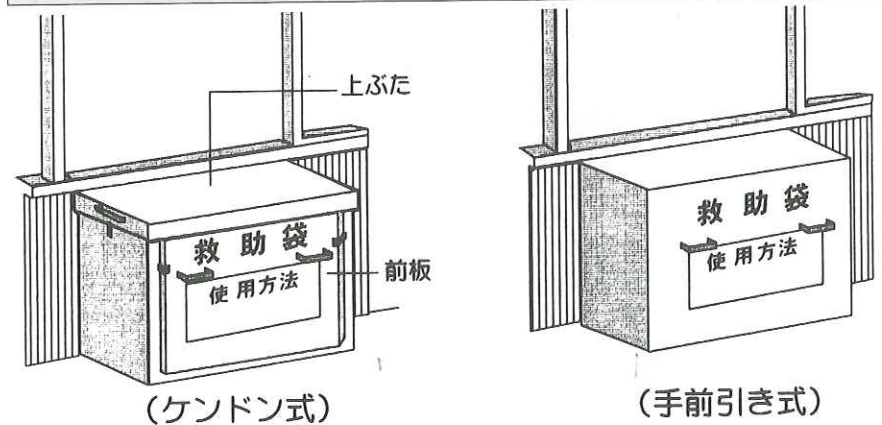
**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・財産などの財産にかかわる損害をいいます。

## 構造と各部のなまえ



## 格納箱



操作要領の手順は、日頃からおぼえておきましょう。

## 操作要領



### 〈ケンドン式〉

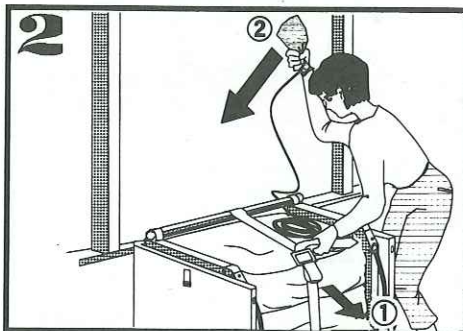
- ①止め金具をはずす。
- ②格納箱の上ぶたを取り除く。
- ③前板を取り除く。
- ④窓を開ける。

**!** 注意／止め金具に指をはさまれないこと。

### 〈手前引き式〉

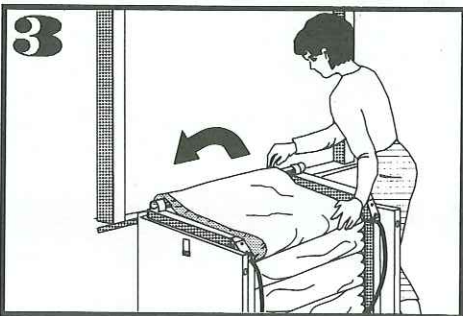
- ①格納箱は取手を持って手前に引き取り除く。
- ②窓を開ける。

**!** 注意／手前に強く引くと倒れる場合があるので強く引かないこと。



- ①バンドを手前に引く。
- ②誘導綱についている砂袋を地上に投下する。

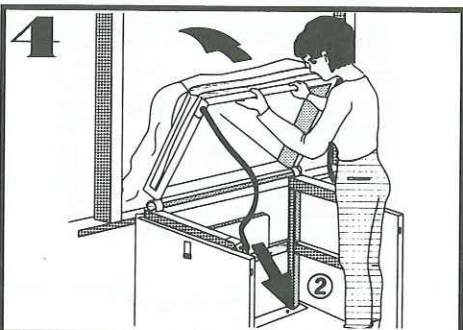
**!** 注意／砂袋を投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物に引っ掛からないようにすること。地上に人がいないことを確認すること。



- ①袋本体を先端から徐々に地上に降下させる。
- ②地上要員が袋本体を受け取っているかを確認する。

**!** 警告／袋本体を降ろす時は、徐々に降ろし、衣服などを巻き込まれないこと。

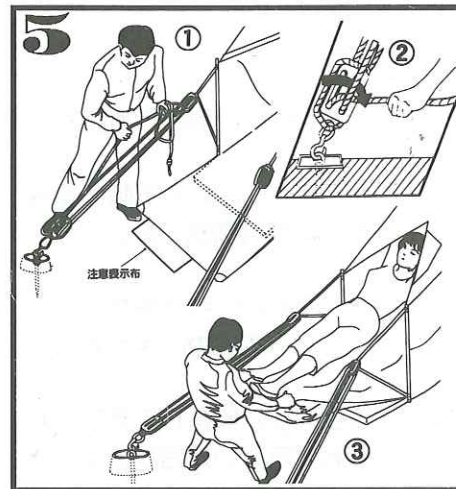
**!** 注意／袋をまとめて一度に降ろさないこと。



- ①入口金具を静かに起こし、正常に展張させる。
- ②ステップを手前に倒す。

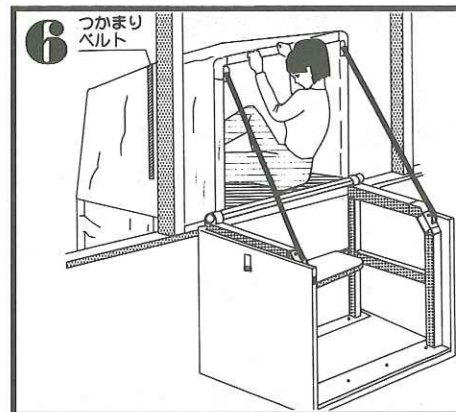
**!** 注意／入口金具を起こす時、取付具などに手をはさまれないこと。

**!** 注意 格納箱の上には、乗らないこと。  
また、物を置いたりしないこと。



### 〈地上操作〉

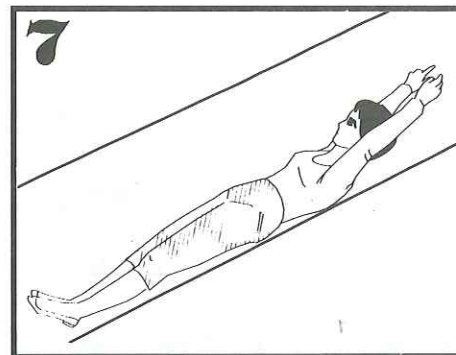
- ①誘導綱をはずす。
- ②滑車先端のフックを固定環に引っ掛け出口部の高さが50cm程度になるところまでロープを引く。(①参照)
- ③張設されている1本のロープの下を通して逆方向にもどして固定させる。(②参照)
- ④上部に合図を送り受け布を持って、降下者を受け止める。(③参照)



### 〈降下避難〉

- ①地上の合図により、入口枠に足から入り、つかまりベルトのあるものは、ベルトを持ち両足をそろえて降下姿勢をとる。

**!** 注意／降下者は袋の中に、頭から入らないこと。



### 〈降下避難〉

- ①両手を上にし、かかとを心持ち上げ、背及び腰部で滑り降りる。

**!** 警告／降下者は袋の中に、ジャンプして入り込まないこと。

**!** 注意／出口部では足が地面につくまで絶対に立ち上がらないこと。また、正面方向に向かって脱出すること。

## 警告及び注意事項



- 地上固定環が正常に掛けられていない場合や、滑車の固定が充分でないと、落下などの原因になるので十分に確認すること。
- 降下の時は、袋にジャンプして入り込まないこと。
- 止め金具などに指をはさまれないこと。
- 手前引きの格納箱を除去する時、手前に強く引くと倒れる場合があるので強く引かないこと。
- 誘導綱についている砂袋を地上に投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物に引っ掛からないようにし、地上に歩行者がいないことを確認すること。
- 袋本体降下の時に、サッシの角やその他の障害物に引っ掛からないようにする。また、袋本体が急速に落下することがあるが、手や衣服を巻き込まれないこと。
- 入口金具を起す時、2段・3段と伸長する金具を、伸長したままの状態では回転させると、開口部の上端にあたり回転できない場合があるのでしないこと。
- 袋本体を降下させる時、障害物などにより正常に展張されない場合は、袋本を引き上げて降ろし直すこと。
- 入口枠に入る時、窓枠などに頭部をぶつけないこと。
- 地上固定環をセットする時、出口部の高さが、50cm以下になるように調整し、固定完了の合図を上部に送り、受け布を持って降下者を待つこと。
- 降下の時には、絶対に頭から入らないこと。
- 降下の時に、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりするとすり傷などを受ける恐れがあるのでしないこと。
- 出口部では、足が地面につくまで絶対に立ち上がらないこと。
- 出口部では、正面方向に向かって脱出し、出来るだけ横方向には行かないこと。
- 入口金具を折りたたむ時に、手・衣服などをはさまれないようにすること。
- 袋本体を引き上げる時、サッシの角や、開閉用ストッパーなどの突起物に引っ掛けないようにすること。
- 引き上げの時に、地上要員は、袋本体が窓やひさしに引っ掛からないように誘導綱を持って誘導すること。
- 使用の時容易に展張できるように、袋本体はつづら折りに格納すること。
- 格納箱の上や周囲には、使用の時に障害になるような物は、絶対に置かないこと。

## 使用方法の手順

### 格納箱を取り外す

ケンドン式格納箱（上ぶたと前板を個々に取り外すタイプ）



（ケンドン式）  
止め金具を外し、上ぶたを取り前板を取り外す。

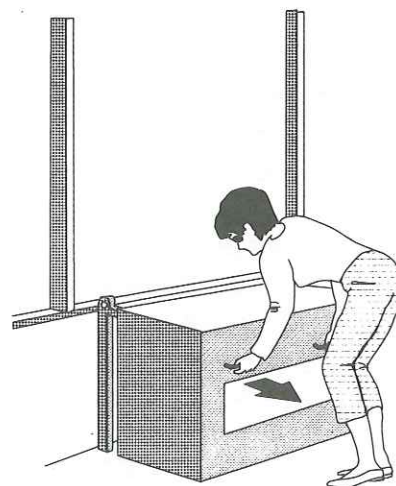
ア.上ぶたの両側についている止め金具をはずし、取手を持って上ぶたを取り外す。①②

イ.前板の両側についている止め金具を外し、取手を持って前板を取り外す。③④

⚠ 注意/格納箱の止め金具などに、指をはさまれないこと。

ウ.救助袋の器具が取り付けてる開口部など（窓）を完全に解放する。

手前引き式格納箱（一体型タイプ）



（手前引き式）  
手前に引く

ア.キャスターがついているので、そのままの状態を取手を持って手前に引く。

⚠ 注意/手前に強く引くと倒れる場合があるので強く引かないこと。

イ.救助袋の器具が取り付けてある開口部（窓）などを完全に解放する。

## 袋本体を降下させる

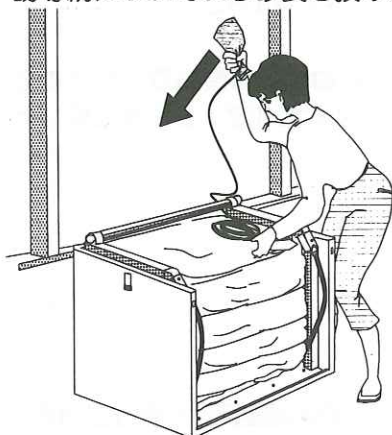
## バンドを解く①



## バンドを解く

ア. 袋本体をしめてあるバンドを手前に引き、バンドを解く。①

## 誘導網についている砂袋を投げる②



## 誘導網先端の砂袋を地上へ投げる

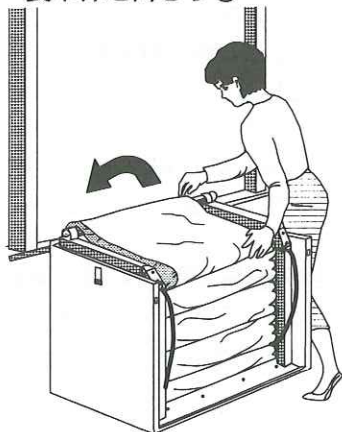
イ.マジックテープをはずし、誘導網先端の砂袋を地上に投下する。②

**!** 注意/誘導網についている砂袋を地上に投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物がある場合は、引っ掛らないようにし、地上に歩行者がいないことを確認すること。

## 袋本体を降ろす

ウ. 袋本体を先端から徐々に地上に降下させる。③

## 袋本体を降ろす③



**!** 注意/袋本体を降下させる時に、サッシの角やその他の障害物に引っ掛らないようにする。また、袋本体が急速に落下することがあるが、手や衣類を巻き込まれないこと。

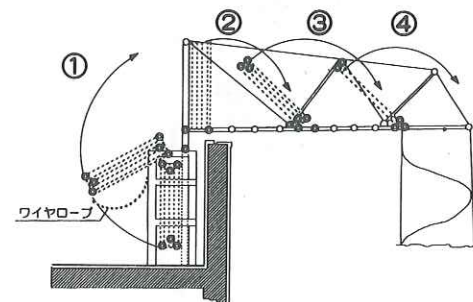
エ. 袋本体が完全に降下し終わったことを確認する。

## 入口金具を起す

## ①



入口金具は①～④の順序で伸長する。



ア. 入口金具を起こす時、両側のワイヤロープ2本を持つか、または入口枠の下側部分のパイプを持って起こす。①

イ. 入口金具の2段・3段と伸長する金具は折りたたんだままの状態で起こす。

**!** 注意/入口金具を起こす時、2段・3段と伸長する金具のものを伸長させた状態で回転させると、開口部の上端にあたり回転できない場合があるのでしないこと。

ウ. 入口金具が静止し、正常な状態で入口枠、水平枠、袋取付枠、ワイヤロープが展張されているかどうかを確認する。また2段・3段と伸長する金具の場合は、入口金具内側より立枠(支持枠)を伸長させ、全体が正常に伸長されているか内側・外側より確認する。

**!** 注意/袋本体を降下させる時、障害物などにより正常に展張されない場合は、袋全体を引き上げて降ろし直すこと。

## 地上固定環をセットする(地上要員)

ア. 地上要員は、降下してきた救助袋の階数表示を確認した上で、固定環ボックスの階数表示と照合し、該当ボックスのふたを開ける。

イ. 袋全体を固定環方向に誘導した後、誘導網の一端を引いて下部支持装置よりはずす。

ウ. 袋本体出口に接続している張設ロープにつながる2つのフックを、袋全体がよじれていないか確認の上、左右を見極めて固定環の両側に1つずつ掛ける。

エ. 2車滑車のロープの末端を1車の滑車より直接連なるロープの下を通して引っ張る。①

オ. 救助袋が出口部に於て地上高が50cmに展張されたら逆方向に引き、張設ロープの間に食い込ませる。②

カ. 袋が正常に展張されているかどうか、出口部に腰掛けて確認する。この時、左右が極端に均等でない場合は、エ.の作業を繰り返し、左右が大体均等になるように調節する。①

⚠ 注意/出口部の地上高が、50cm以下となるように調節し、固定完了の合図を上部に送り、受け布を持って降下者を待つこと。

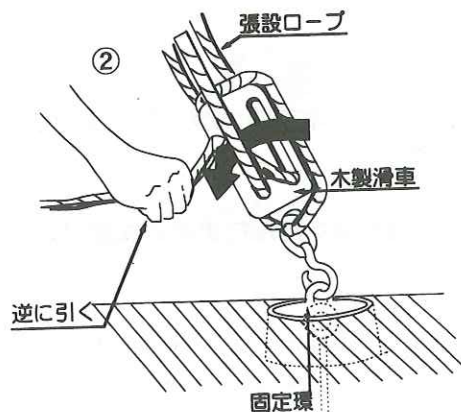
キ. 正常に展張されたら、受け布を持ち上部要員に展張完了の合図を送る。③

⚠ 警告/地上固定環にフックが正常に掛けられていない場合や、滑車の固定が充分でないと、落下などの原因になるので十分に確認すること。

①



②



③



## 降下する

ア. 取付具に設けられている、ステップを手前に(90°)倒す。①

イ. 地上の合図により入口枠に足から入り、つかまりベルトのあるものはベルトを持ち両足をそろえて降下姿勢をとる。②

⚠ 警告/降下の時、袋にはジャンプして入り込まないこと。

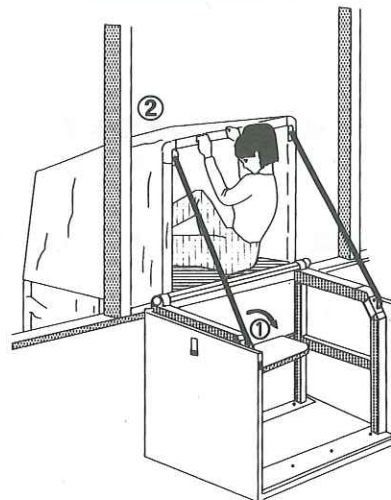
⚠ 注意/入口枠に入る時、窓枠などに頭部をぶつけないこと。

ウ. 両手を上にし、または自然体でかかとを心持ち上げ、背及び腰部で滑り降りる。③

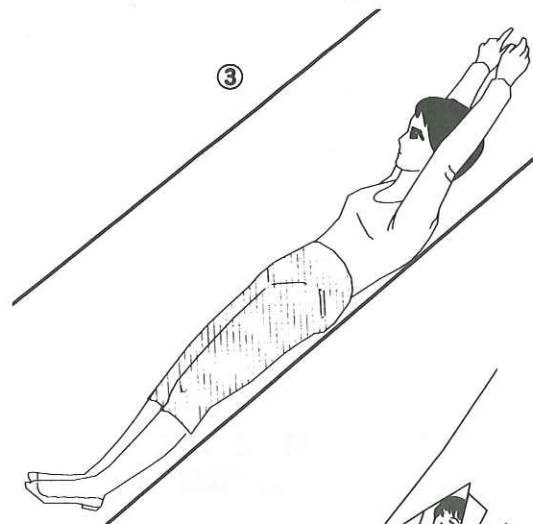
⚠ 注意/降下の時に、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりするとすり傷などを受ける怖れがあるのでしないこと。

⚠ 注意/出口部では、足が地面につくまで絶対に立ち上がらないこと。出口部では、正面方向に向かって脱出し、出来るだけ横方向には行かないこと。

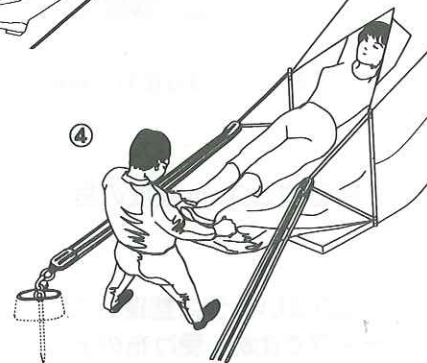
エ. 地上要員は、出口部の受け布を持ち、降下してきた避難者が出口より飛び出さないように受け止める。(受布の注意表示布による)④



③



④




## 引き上げ・格納の手順

### 地上の手順

ア. 地上要員は張設ロープを最大限の長さまで緩め、フックを固定環より外し、ふたをする。


イ. 張設ロープの滑車部フックのシンプル(丸環)に誘導網を通して結ぶ。

 注意/引き上げの時に、地上要員は、袋全体が窓やひさしに引っ掛らないように誘導網を持って誘導すること。


### 上部の手順

ア. 取付具内のステップをもとに納める。


イ. 伸長している入口金具を先端より袋取付枠、立枠(支持枠)、水平枠の順序で折りたたみ、手前に引き込み取付具内に引き入れ収納する。

 注意/入口金具を折りたたむ時に、手・衣類などはさまれないこと。

ウ. 入口金具を取付具に収めたのち袋本体を引き上げる。

 注意/袋本体を引き上げる時、サッシの角や、開閉用ストッパーなどの突起物に引っ掛けないようにすること。

エ. 袋本体を完全に引き上げたら、保護網を内側にして横に3つまたは4つにたたみ、その後に縦方向につづら折りにたたみ、出口保護マットを上へのせる。


 注意/使用時に容易に展張できるように、袋本体は、つづら折りに格納すること。

オ. 張設ロープをもつれないように整理して直径約20cm程度の輪に束ね保護マットの上へのせる。

カ. 受け布を折返してたたみ、誘導網はもつれないように整理して、直径約25cm程度の輪に束ねてマジックテープで止め、受け布の上へのせる。

キ. バンドで袋本体を締める。

ク. ケンドン式の場合は、前板・上ぶたをはめ込み、止め金具を止める。  
手前引き式の場合は、もとの位置に格納箱をもどす。

 注意/止め金具が止まっていることを確認すること。  
格納箱の上や周囲には、使用時に障害となるような物を置かないこと。



注意

## 訓練などに使用する場合の注意

1. 避難訓練の時は、極力点検業者または、メーカーなどの消防設備士、消防設備点検資格者などに立ち合ってもらうこと。
2. 降下訓練は必ず、上部1名以上、下部出口部1名以上の配置をすること。(下部要員は受布の先端に赤色で表示「降下者をこの受布の両側を持って受け止めて下さい」のとおり実施すること。
3. 降下訓練時は、必ず1人ずつ降下し脱出してから、つぎの人が降下すること。
4. 降下中に、すり傷などを受けるおそれがあるので、長袖・長ズボン・軍手などを着用し、ハイヒールなどのかかとのとがった履物では、降下しないこと。
5. 学校の避難訓練などで、児童生徒を対象に行う場合は、安全の為に出口部の下部及び前面にマットなどの使用が望ましい。

## 製造品ご案内

当社は、防災設備をはじめ、消防服装などの繊維製品をすぐれた技術と厳しい品質管理のもとに、自社工場で製造し、皆様のニーズにお応え致しております。

別記製品のご用命は、何卒、当社まで賜りますようお願い致します。

### 製造品目

#### ◇北海道第一、二工場◇

- ・諸官庁各種制服・救助服・防火服・作業服
- ・防寒衣・各種ユニフォーム
- ・各種救助袋(斜降式・垂直式・ハッチ用)
- ・消防設備点検業務・その他各種帆布製品

#### ◇東京工場◇

- ・各種救助袋(斜降式・垂直式・ハッチ用)
- ・防排煙設備・各種避難器具設備工事
- ・消防設備点検業務・その他

#### ◇中国工場◇

- ・ファッションユニフォーム各種繊維製品

